

# What's new

## 1. 読んだその場で感想が送れる「アンケート on pdf」システム

各企画の最後のページにアンケートフォームを設置しました。ここから、企画の5段階評価、一言コメントをお送りいただけます。



5段階評価 (1 ← 3 → 5) コメント欄 送信ボタン

フォームの横にあるボタンはその企画の評価だけを送信します。これはWhole contents版もPartial contents版も同様です。

Whole contents版の最後のページには、その号のすべてのフォームを一括して送信するボタンがあります。

読みながら評価をつけて、最後に一括送信する場合はこちらをご利用ください。

※従来のアンケートもwww.the-orj.org上で続きます。どちらでお送りいただいてもかまいません。

### ! Notation !

pdfビューアの設定によっては、正しく送信できない（送信できても結果が文字化けしてしまう）場合があります。お使いのビューアの設定を調整していただくか、あるいはpdfプラグインを入れたブラウザでお読みいただき、送信していただくと確実です。



## 2. 編集部持ち回りのエッセイ 第一弾はヨッキレン

何げにエッセイを始めてみました。編集部員の掛け値無しの思いを綴ります。第一回目を飾るのは、やはりこの人、ヨッキレン。乞うご期待！

## 3. 橋をテーマにした読者投稿 「旧橋紀行」スタート

今号より、読者の投稿企画として「旧橋紀行」がスタートします。これは各地に残る古い橋を紹介し、意外と奥の深い「橋」についてを掘り下げていこうというものです。まずは、マフラー巻きさんによる第一回・長浜大橋をご覧ください。

「旧橋紀行」は読者のみなさんから寄稿していただくことを想定しており、投稿があった時のみ掲載する「不定連載」となります。「旧い橋」を題材にしたのであれば、調査ルポやエッセイ、思い出話など、どのような内容であってもかまいません。橋の構造や技術的な豆知識を紹介する「メモランダム」は編集部が担当します。

次号からは「隧道レッドデータブック」への寄稿も受け付けます。前号・今号のフォーマットに従って原稿を書き、写真とともにお送りください（詳細は編集部にお尋ねください）。

みなさんの投稿をお待ちしています！

## 4. 編集部の実例をもとに 投稿の流れを紹介

みなさんがもっと投稿しやすくなることを願って、編集部・あきら氏の投稿が誌面になるまでを紹介するページを設けました。「書いてみようかな」と思われる方は、ぜひ参考にしてください。

## 5. 読者の声を紹介する 「Reader's voice」スタート

みなさんから寄せられた感想や、アンケート結果などをお伝えする「読者ページ」をはじめました。とりあえず今回は、投書箱にいただいたメールとアンケート結果などを、編集部が再構成してお届けします。次回からはこのコーナーあてのおたより(?)も受け付けますので、ORJの感想に限らず、編集部に聞いてみたいことや聞いてほしいことなどを、お気軽にお寄せください。

